

高知青年会議所 外国客船受入による高知の未来を考える会・講演資料

高知県におけるインバウンドの状況と地域活性化

2025年8月20日



本日の構成

1. インバウンドの状況

2. インバウンド対策

3. クルーズ市場の状況

4. 外国クルーズ船乗客の傾向

5. クルーズ船乗客対応の課題と対策

1. インバウンドの状況

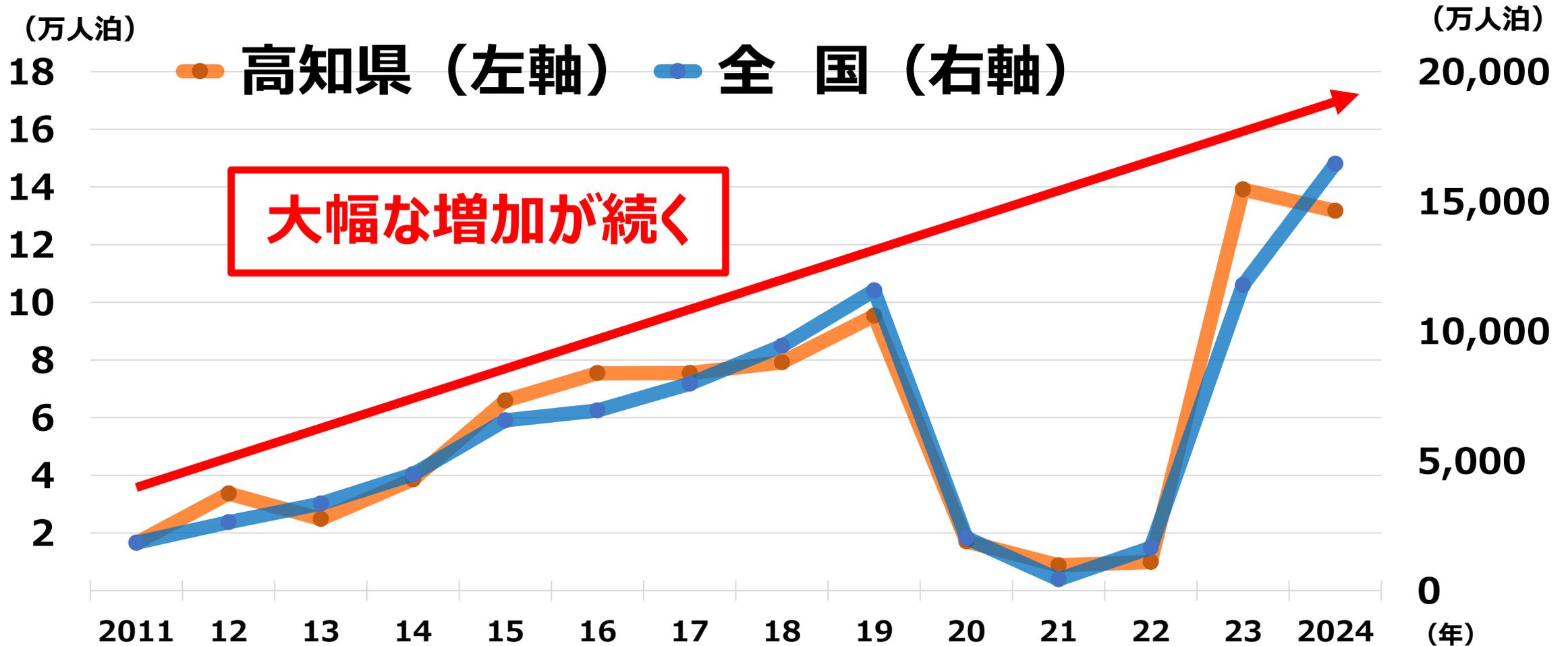
① 訪日外国人数の推移（全国）



(出典) 日本政府観光局「日本の観光統計データ」

1. インバウンドの状況

② 外国人延べ宿泊者数（全国及び高知県）



(出典) 国土交通省四国運輸局「宿泊旅行統計調査」P15,16の数値とは宿泊施設の従業員数のベースが異なるため一致しない。

1. インバウンドの状況

③ 外国人延べ宿泊者数（全国・月次）

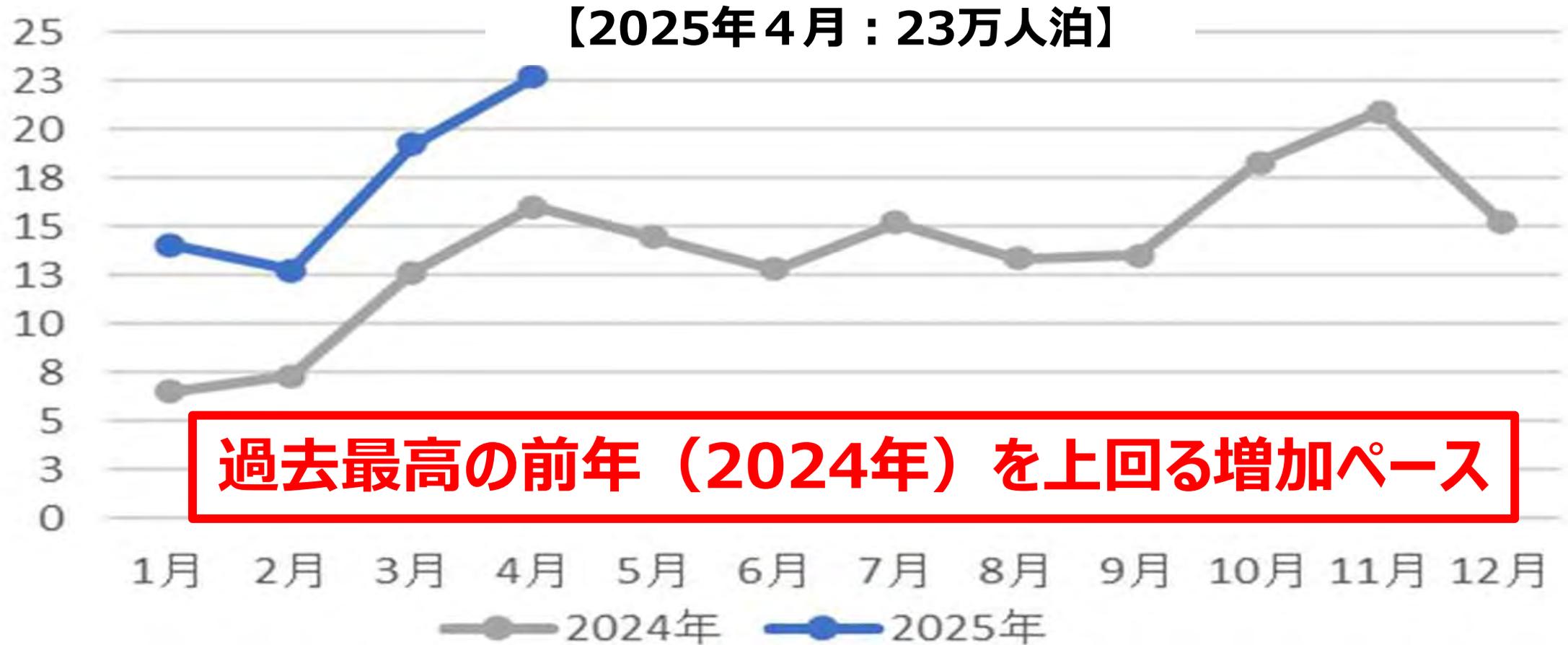
(万人泊)



1. インバウンドの状況

④ 外国人月別延べ宿泊者数（四国・月次）

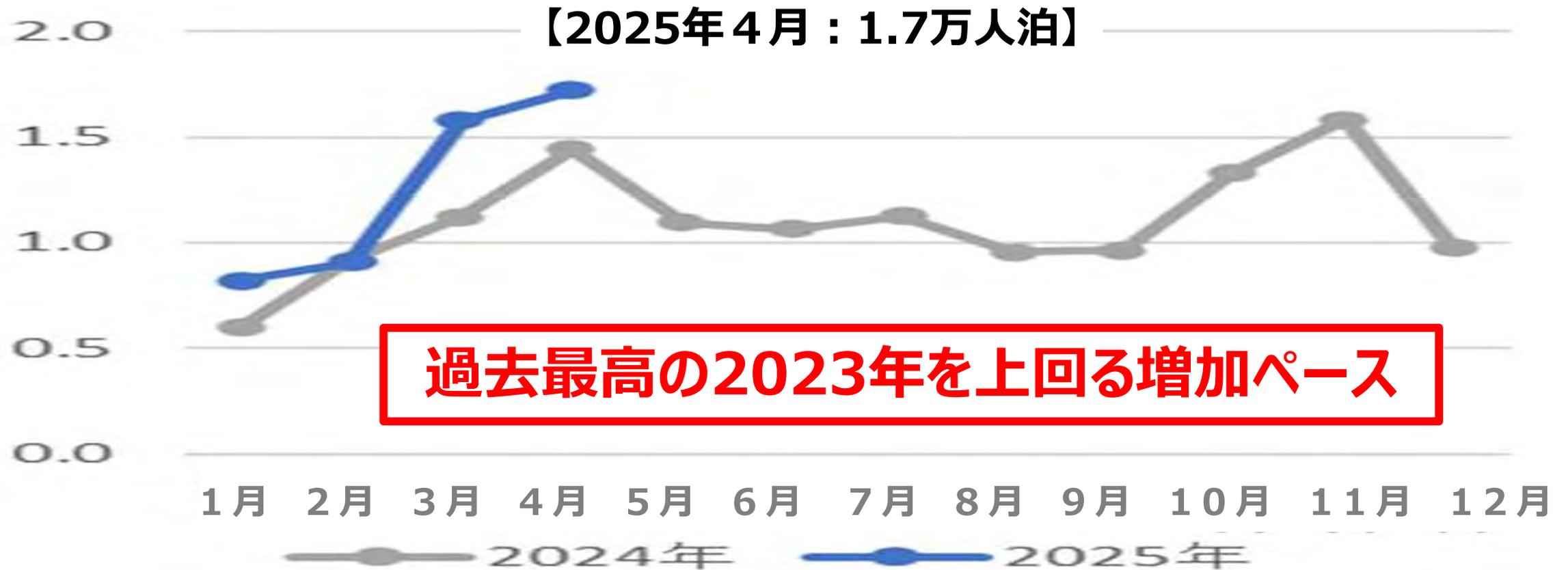
(万人泊)



1. インバウンドの状況

⑤ 外国人月別延べ宿泊者数（高知県・月次）

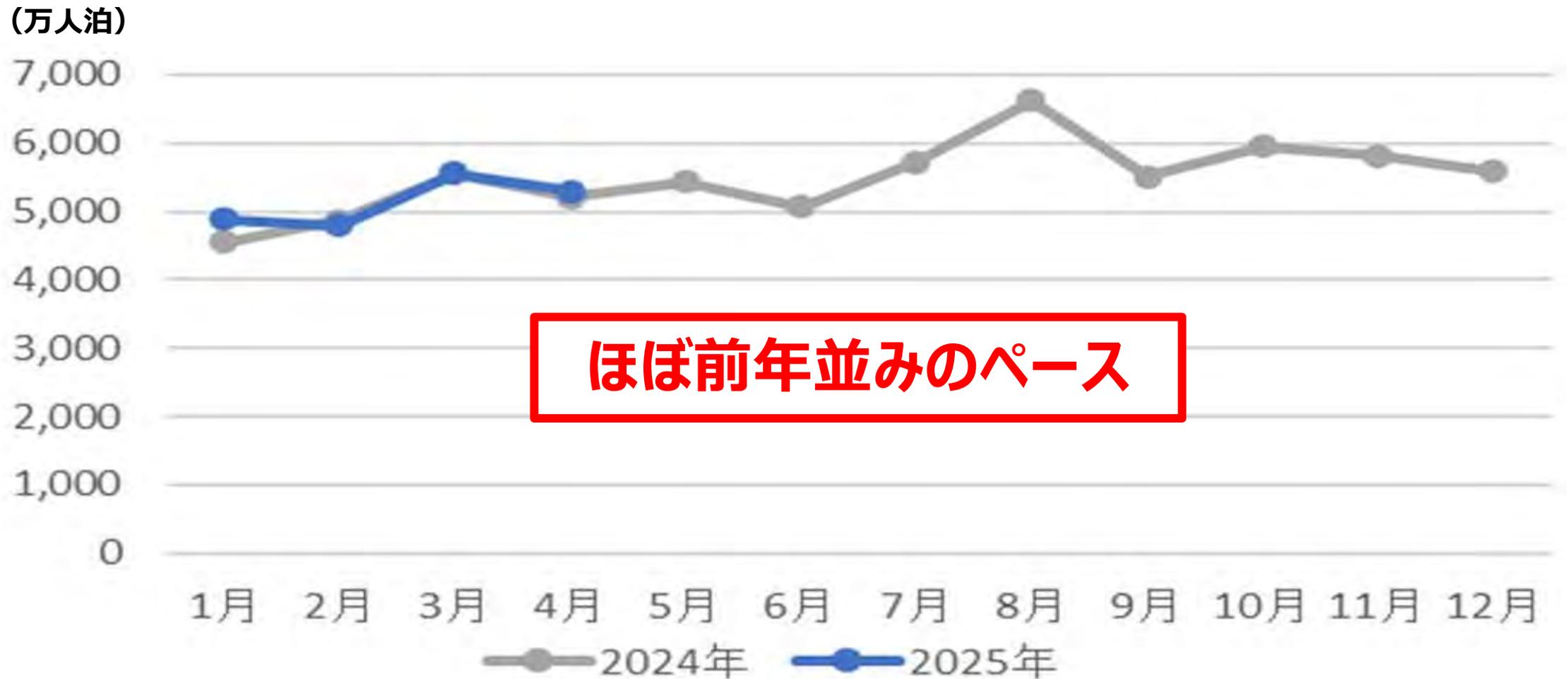
(万人泊)



(出典) 国土交通省四国運輸局「宿泊旅行統計調査」

1. インバウンドの状況

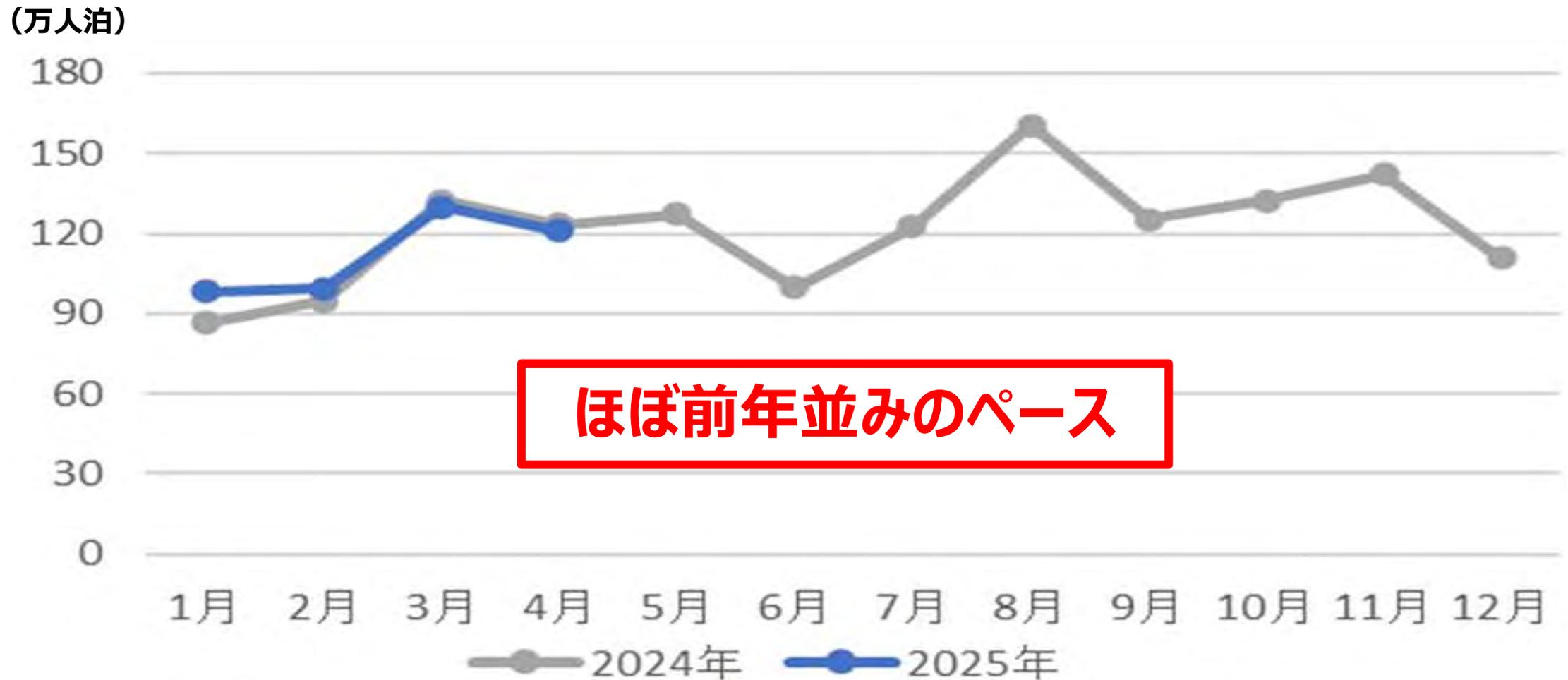
(参考1) 延べ宿泊者数（日本人と外国人の合計：全国・月次）



(出典) 国土交通省四国運輸局「宿泊旅行統計調査」

1. インバウンドの状況

(参考2) 延べ宿泊者数（日本人と外国人の合計：四国・月次）



(出典) 国土交通省四国運輸局「宿泊旅行統計調査」

1. インバウンドの状況

(参考3) 延べ宿泊者数（日本人と外国人の合計：高知県・月次）

(万人泊)



(出典) 国土交通省四国運輸局「宿泊旅行統計調査」

1. インバウンドの状況

(参考4) 延べ宿泊者数 (日本人：全国・月次)



(出典) 国土交通省四国運輸局「宿泊旅行統計調査」

1. インバウンドの状況

(参考5) 延べ宿泊者数 (日本人：四国・月次)



(出典) 国土交通省四国運輸局「宿泊旅行統計調査」

1. インバウンドの状況

(参考6) 延べ宿泊者数 (日本人: 高知県・月次)

(万人泊)



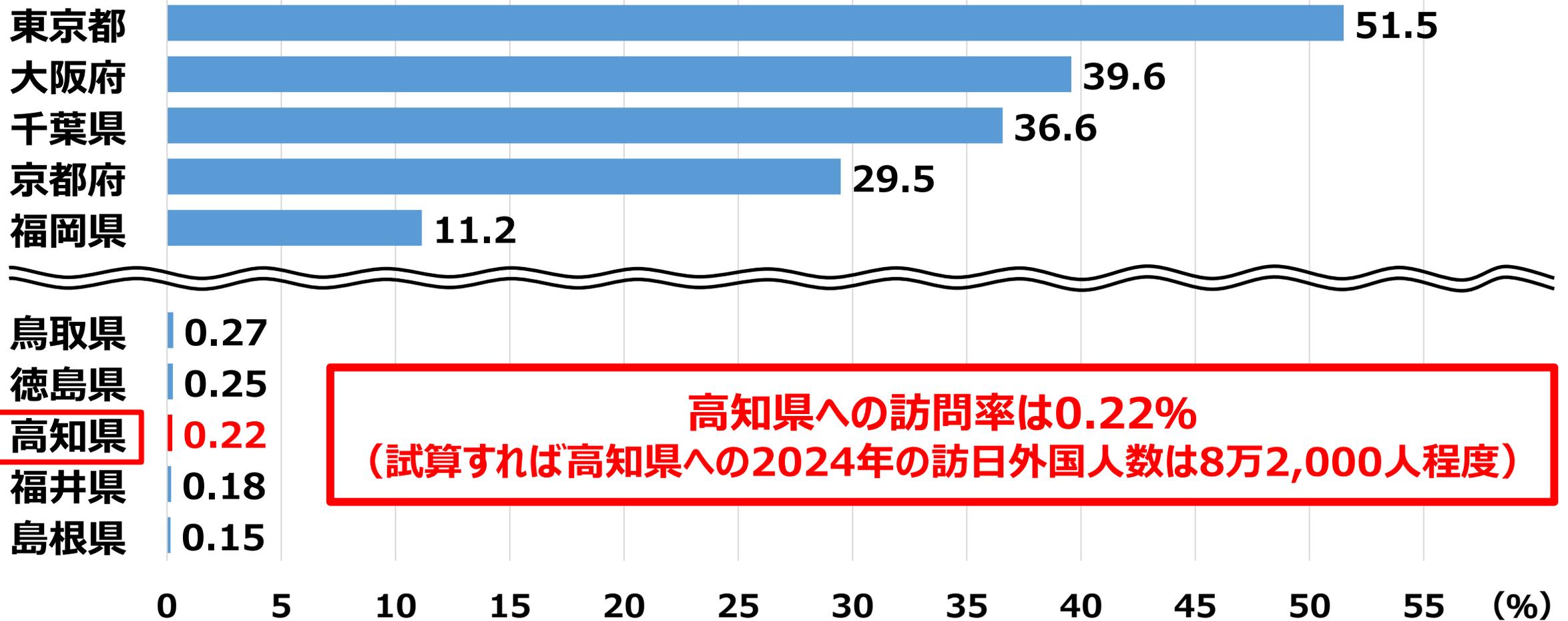
(出典) 国土交通省四国運輸局「宿泊旅行統計調査」

1. インバウンドの状況

**訪日外国人数は増加を続け、
全国、高知県ともに今後も増加する見通し**

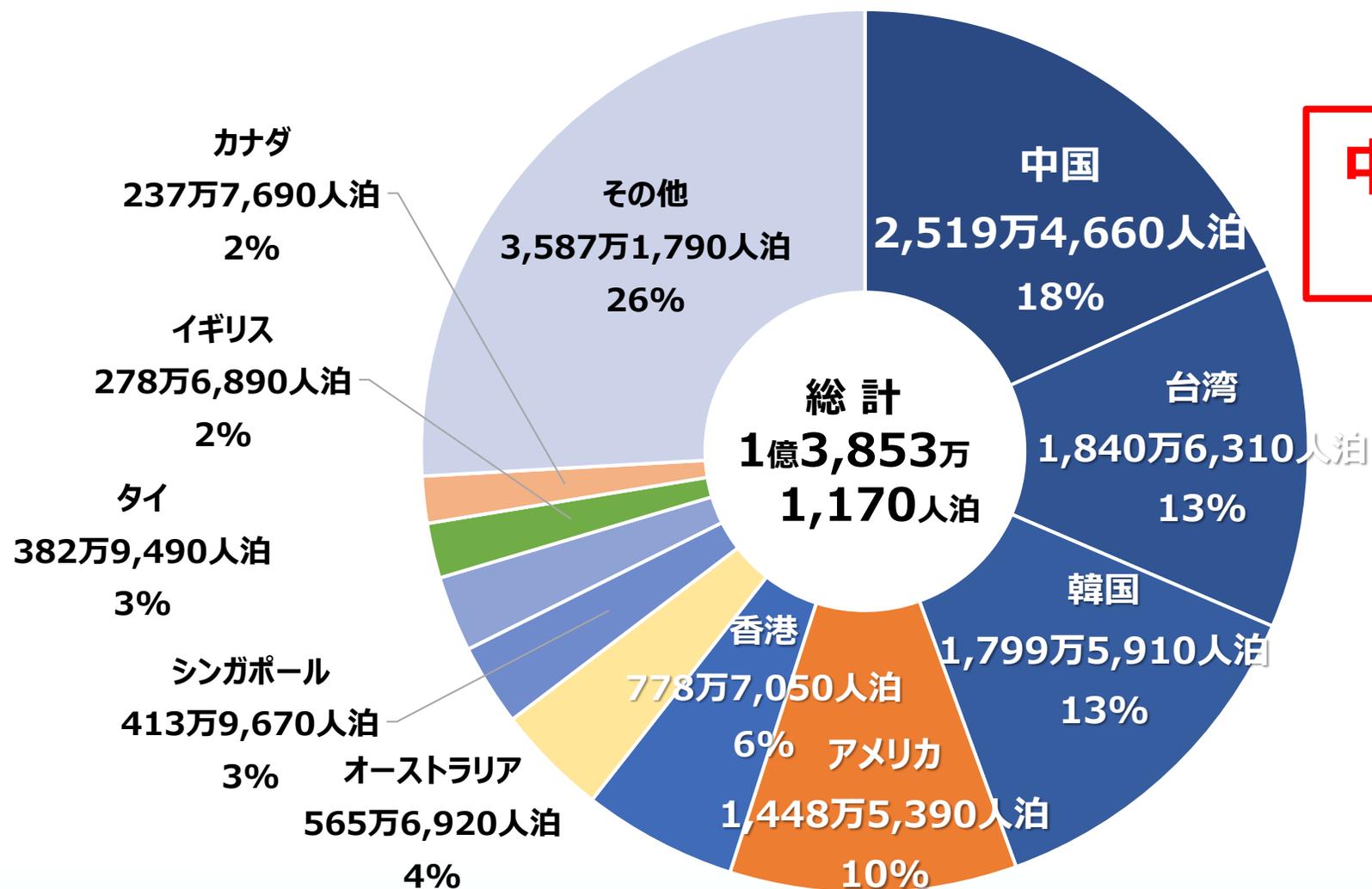
1. インバウンドの状況

⑥ 訪日外国人の訪問率（都道府県別上位5都府県と下位5県・2024年）



1. インバウンドの状況

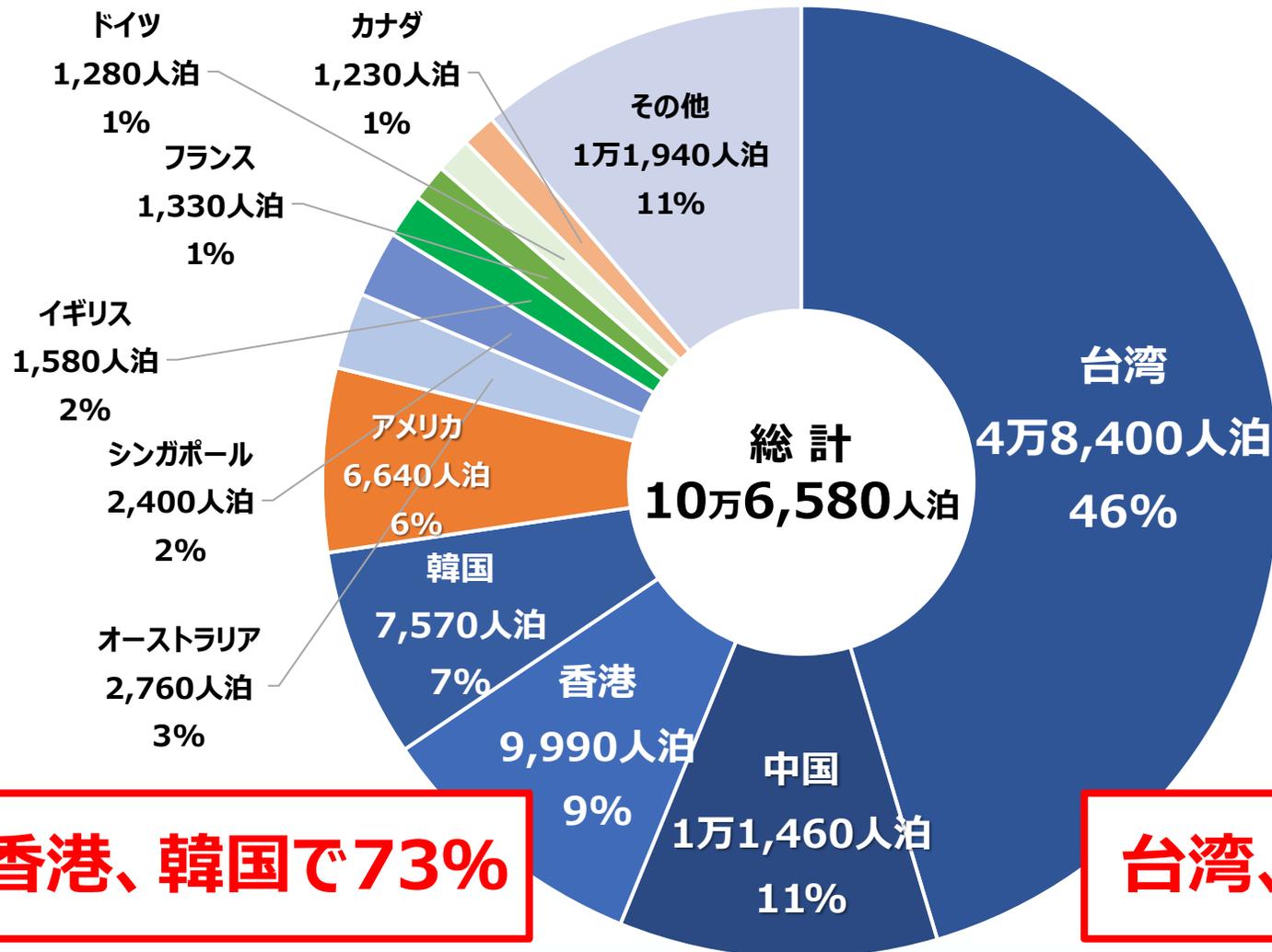
⑦ 外国人延べ宿泊者数の出身国・地域構成比（全国・2024年）



**中国、台湾、韓国、
香港で50%**

1. インバウンドの状況

⑧ 外国人延べ宿泊者数の出身国・地域構成比（高知県・2024年）



台湾だけで50%弱

台湾、中国、香港、韓国で73%

台湾、中国、香港で66%

1. インバウンドの状況

⑨ 台湾⇔高知定期チャーター便の就航状況

【チャーター便概要】

- 期間：2023（令和5）年5月10日～
2026（令和8）年3月28日
- 便数：週2便往復（水、土）
- 旅行会社：スタートラベル
（台湾発団体ツアー販売）
- 航空会社：タイガーエア台湾
- 座席数：180席
（個人向け座席販売・1機あたり36席）
- 平均搭乗率：約95%
（令和5年5月～令和7年6月）



1. インバウンドの状況

高知県への訪日外国人の出身国の構成比は、

- **中華系がメインで、台湾だけで50%弱**
- **中華系（台湾、中国、香港の合計）で66%**
- **中華系＋韓国で合計73%**

本日の構成

1. インバウンドの状況

2. インバウンド対策

3. クルーズ市場の状況

4. 外国クルーズ船乗客の傾向

5. クルーズ船乗客対応の課題と対策

2. インバウンド対策

高知県のインバウンド対策（高知県産業振興計画第5期ver.2・2025年3月より）

<p>現状と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆台湾からの定期チャーター便の定着や新たな路線の誘致 ◆大阪・関西万博を最大限生かした関西圏からの誘客促進 ◆消費拡大に向けた付加価値の高い旅行商品づくりや受入環境の整備
<p>目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆観光庁「宿泊旅行統計調査」外国人延べ宿泊者 出発点(R4) 9,890人泊 ⇒ 現状(R5) 139,110人泊 ⇒ R7 14万人泊 ⇒ 4年後(R9) 17万人泊 ◆外国人県内消費額 出発点(R4) 3億円 ⇒ 現状(R5) 44億円 ⇒ R7 49億円 ⇒ 4年後(R9) 57億円

2. インバウンド対策

高知県のインバウンド対策（高知県産業振興計画第5期ver.2・2025年3月より）

対処方針

★ 高知県への誘客のさらなる拡大

① 国際チャーター便誘致活動と定期便化を見据えた取り組み

i 台湾定期チャーター便の定着に向けた取り組みの強化

- ・旅行会社への誘客支援、航空会社への運航支援

団体向け：ツアー商品の拡充（サイクリング等の新たなコンテンツ提案）、旅行会社との共同誘客プロモーション（旅行博出展、台湾メディアでの発信等）

個人向け：航空会社との共同プロモーションによる販売促進（SNS等による情報発信等）

ii 短期チャーター便の誘致（韓国等）

- ・航空会社等へのセールス強化（県内視察やゴルフの提案）
- ・旅行会社への商品販売に向けた連携や韓国メディアを活用した情報発信

② 関西圏からの誘客の促進

i 大阪・関西万博での自治体催事参加（よさこい祭りや街路市等を通じた魅力発信）

ii 万博訪問者等への本県の魅力発信（どっぷり体験コンテンツ予約サイトへの誘導）

iii 大阪観光局や関西エアポート等と連携した情報発信

（富裕層向け海外旅行博(かヌ、シンガポール等)でのセールス、関西国際空港でのPRブース設置)



2. インバウンド対策

高知県のインバウンド対策（高知県産業振興計画第5期ver.2・2025年3月より）

対処方針（続き）

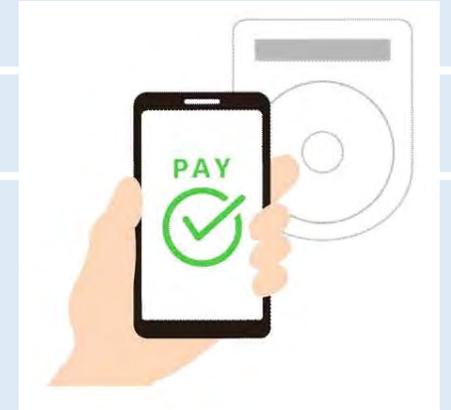
★消費拡大に向けた受入環境整備

① 消費拡大の取り組みの促進

- i 消費拡大セミナー(仮称)の開催や受入環境整備への観光事業者支援の強化
(多言語での商品紹介(ポップ作成)やキャッシュレス機器の導入、補助金の活用等)
- ii 地元ならではの食や土産物等に関する情報発信の強化
(観光情報サイト「VISIT KOCHI JAPAN」やSNS等による情報発信)

② 付加価値の高い旅行商品づくりの推進

- i 稼げるガイドの育成
(ガイド活躍につなげるための「どっぷり高知旅」商品やクルーズ客船ツアーを活用した実地研修の充実)
- ii ガイド付インバウンド向け商品づくりの推進
(観光事業者、旅行会社と通訳案内士の交流会やマッチングを通じたガイド付き「どっぷり高知旅」商品づくりや販売促進)



2. インバウンド対策

高知県のインバウンド対策としては

- 台湾や韓国等との航空便の定着・誘致など
- 観光事業者支援の強化（多言語での商品紹介（ポップ作成）、キャッシュレス機器の導入、補助金の活用等）や
情報発信の強化（観光情報サイト「VISIT KOCHI JAPAN」やSNS等による情報発信）など

本日の構成

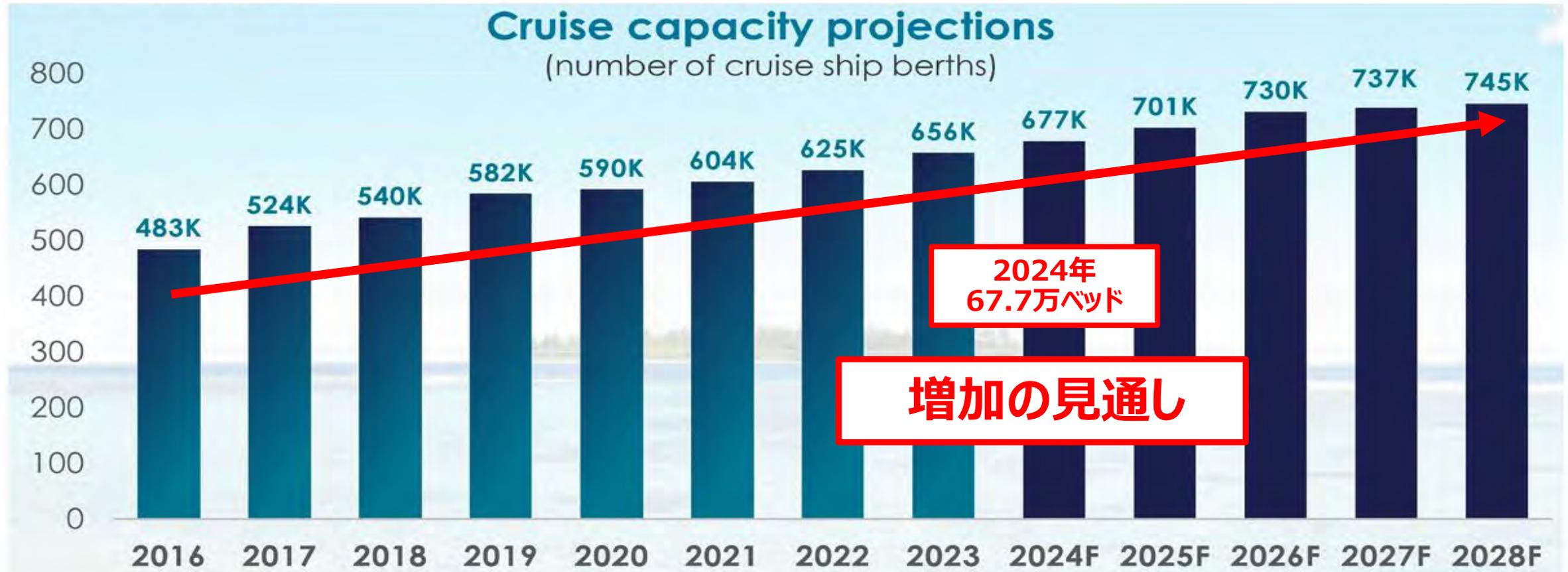
1. インバウンドの状況
2. インバウンド対策
3. クルーズ市場の状況
4. 外国クルーズ船乗客の傾向
5. クルーズ船乗客対応の課題と対策

3.クルーズ市場の状況 (1) 世界のクルーズ市場の現状と見通し

①世界のクルーズキャパシティ（ベッド数）

- 世界のクルーズ船の輸送キャパシティ（供給サイド＝ベッド数）は継続して増加。2025年以降も増加する見通し。

クルーズ定員予測



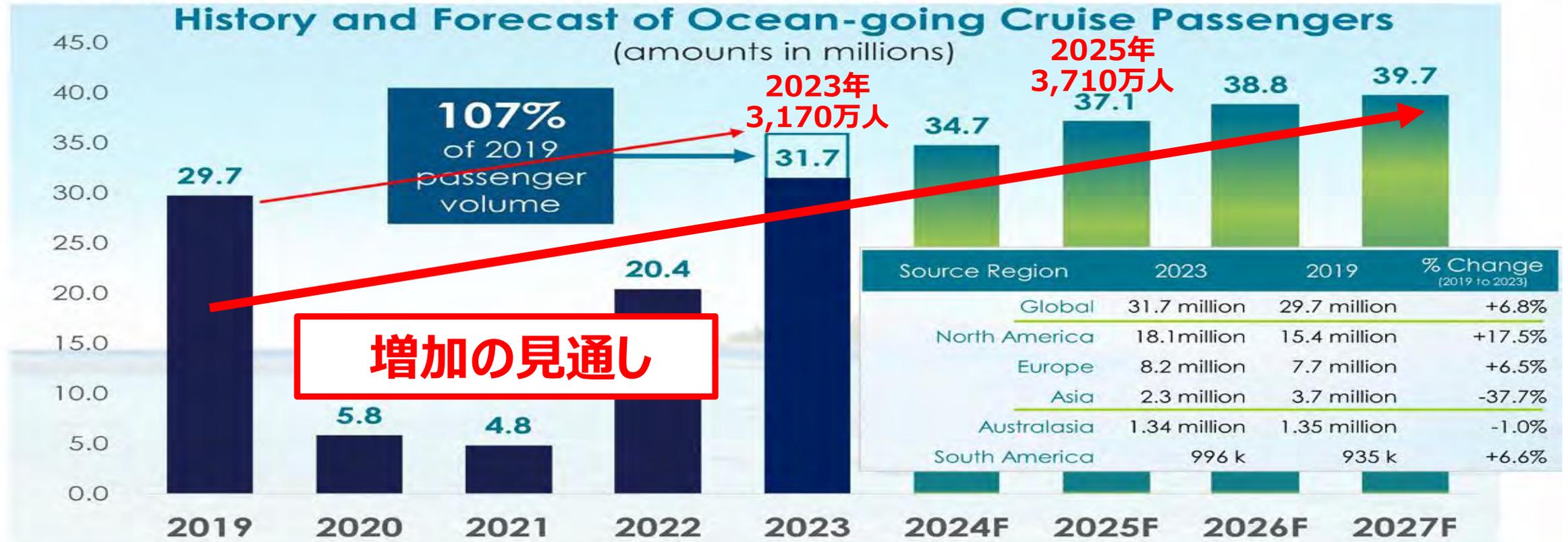
(出典) 国土交通省「クルーズ旅客の受入機能高度化に向けた検討会」(令和6年9月11日) "State of the Cruise Industry Report" May 2024, CLIA

3.クルーズ市場の状況 (1) 世界のクルーズ市場の現状と見通し

②世界のクルーズ人口

- 世界のクルーズ人口（需要サイド）は、2023年に3,170万人とコロナ前の2019年に比べ107%の水準。2025年には3,710万人となる見込み。

世界のクルーズ人口の実績と将来予測



(出典) 国土交通省「クルーズ旅客の受入機能高度化に向けた検討会」(令和6年9月11日) "State of the Cruise Industry Report" May 2024, CLIA

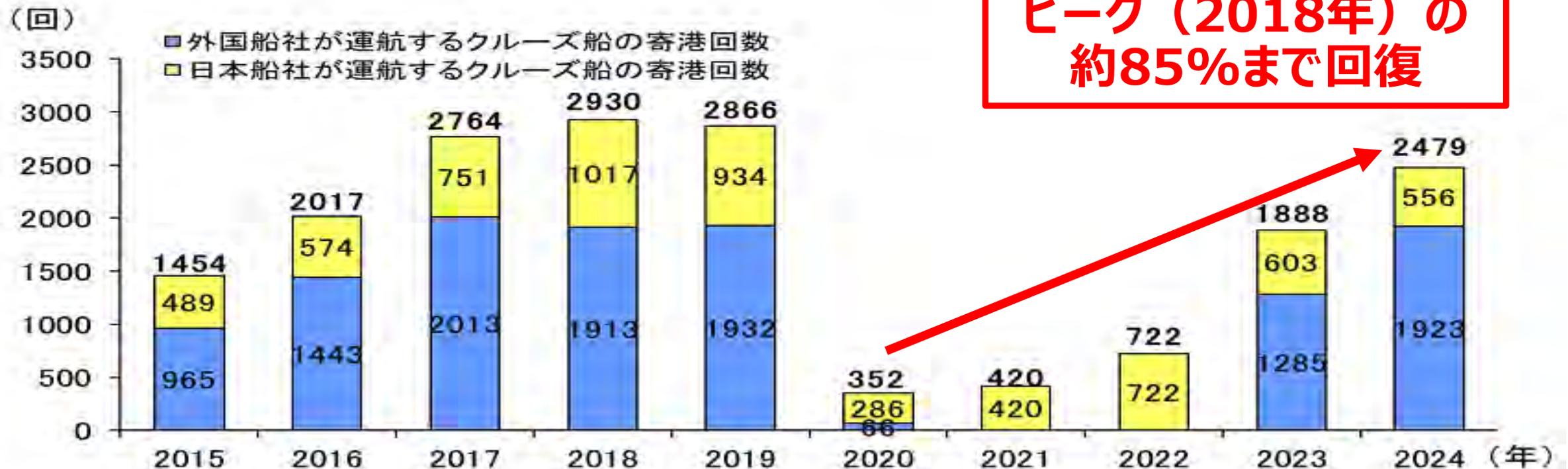
**世界のクルーズ市場は拡大を続け、
今後とも拡大する見通し**

3.クルーズ市場の状況 (2) 日本へのクルーズ船の寄港等の現状と見通し

① 日本へのクルーズ船の寄港回数 (日本船及び外国船)

- 2024年の日本へのクルーズ船寄港回数は、前年比約1.3倍の2,479回となり、コロナ前ピーク水準(2018年)の約85%まで回復。

日本へのクルーズ船の寄港回数 (暦年)



(出典) 国土交通省「訪日クルーズ旅客数及びクルーズ船の寄港回数 (2024年速報値)」

3.クルーズ市場の状況 (2) 日本へのクルーズ船の寄港等の現状と見通し

② 日本への外国クルーズ船の寄港回数

- 日本への外国クルーズ船（外国船社が運航するクルーズ船）の寄港回数は、前年比約1.5倍の1,923回となり、コロナ前ピーク水準（2017年）の約96%まで回復。
- 観光立国推進基本計画では、2025年で2,000回を目標値としている。

(回) 日本の港湾への外国クルーズ船の寄港回数（外国船社が運航するクルーズ船・暦年）

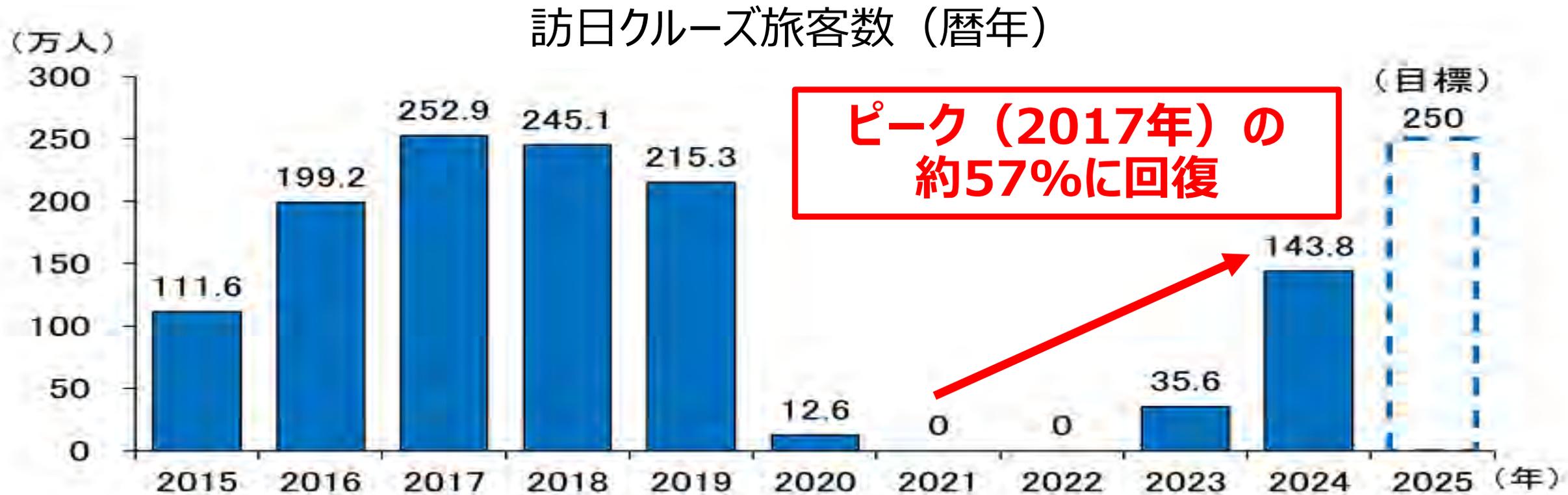


(出典) 国土交通省「訪日クルーズ旅客数及びクルーズ船の寄港回数（2024年速報値）」

3.クルーズ市場の状況 (2) 日本へのクルーズ船の寄港等の現状と見通し

③訪日クルーズ旅客数

- 2024年に日本へクルーズ船で入国した外国人旅客数（訪日クルーズ旅客数）は、前年比約4.0倍の143.8万人となり、コロナ前ピーク水準（2017年）の約57%に回復。
- 観光立国推進基本計画では、2025年で250万人を目標値としている。



（出典）国土交通省「訪日クルーズ旅客数及びクルーズ船の寄港回数（2024年速報値）」

3.クルーズ市場の状況 (2) 日本へのクルーズ船の寄港等の現状と見通し

④各国・地域発の訪日クルーズ旅客数

- コロナ前には訪日クルーズ旅客数全体の8割強を占めていた中国発クルーズは、コロナ前ピーク水準（2017年 217.3万人）の約44%（2024年 95.1万人）にとどまり、回復に遅れ。
- 一方、日本発クルーズによる訪日クルーズ旅客数は、過去最高を記録しており、こうしたクルーズ船は、主に日本の港を発着港として全国の港を周遊しているため、経済効果が全国に波及。

各国・地域発の訪日クルーズ旅客数（暦年）



中国発クルーズはピーク
(2017年)の約44%で回復に遅れ

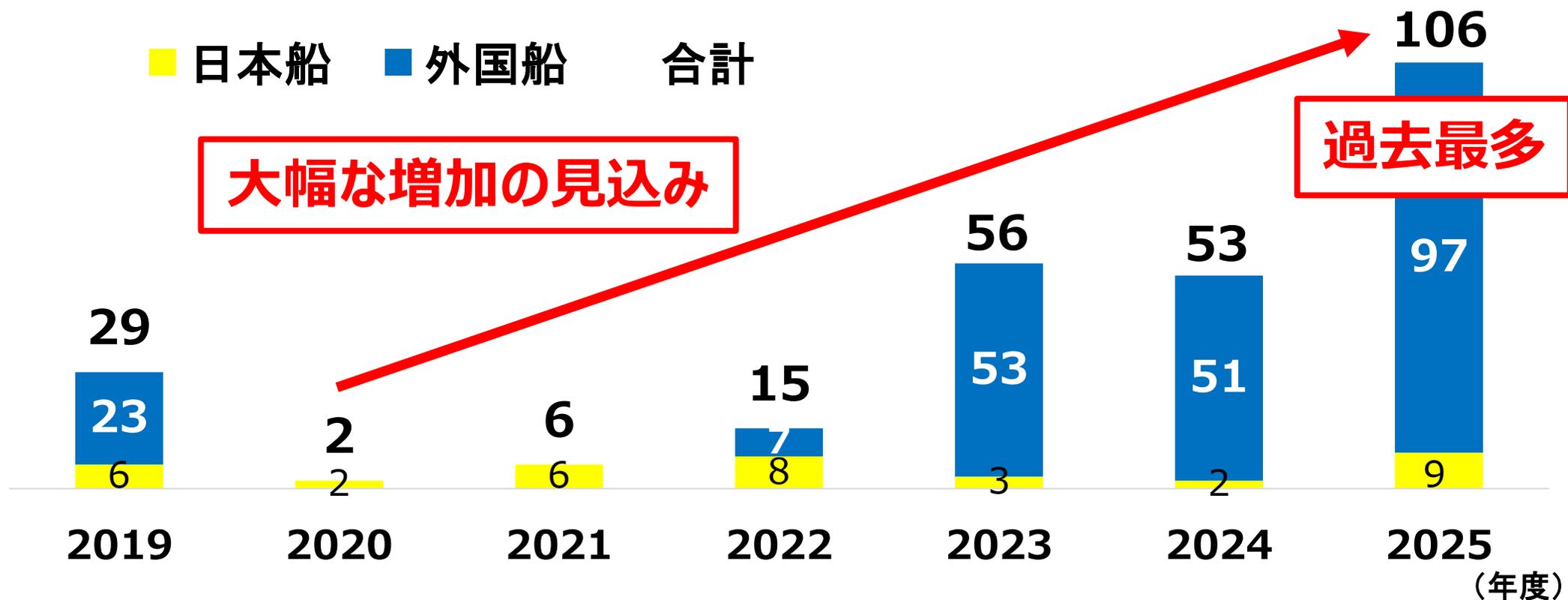
**日本へのクルーズ船の寄港回数は
大幅に増加し、今後とも増加する見通し**

3.クルーズ市場の状況 (3) 高知へのクルーズ船の寄港等の現状と見通し

① 高知新港へのクルーズ船の寄港回数（日本船及び外国船）

- 2024（令和6）年度の高知新港へのクルーズ船の寄港回数（日本船及び外国船）は53回、2025（令和7）年度には106回と大幅な増加の見込み（2025年度は2025年7月31日現在の数値で予約を含む）。

高知新港へのクルーズ船の寄港回数（年度・回）

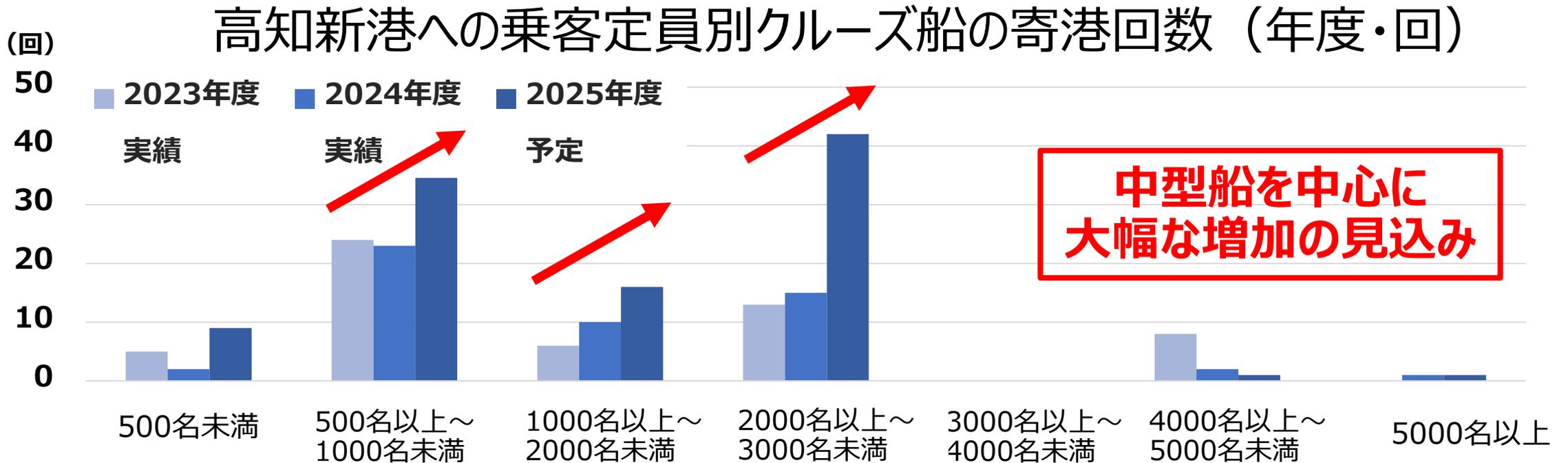


(出典) 高知県港湾振興課

3.クルーズ市場の状況 (3) 高知へのクルーズ船の寄港等の現状と見通し

② 高知新港に寄港するクルーズ船の規模（乗客定員）と寄港回数

- 高知新港に寄港するクルーズ船（日本船及び外国船）の規模（乗客定員）は1,000名～3,000名の中型が多く、（令和7）年度には寄港回数が大幅に増加する見込み（2025年度は2025年7月31日現在の数値で予約を含む）。

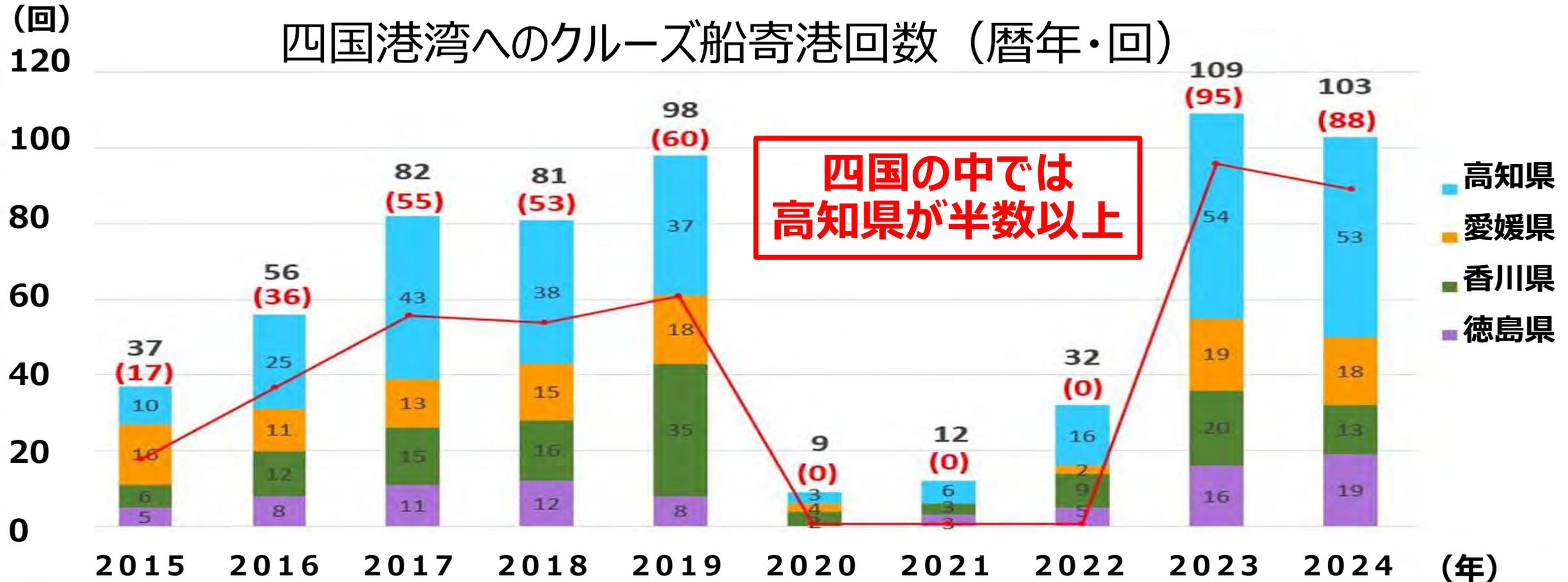


高知新港に寄港予定のクルーズ船の乗客定員を合計すると
2024（R6）年度8.7万人⇒2025（R7）年度16.9万人の見込み

3.クルーズ市場の状況 (3) 高知へのクルーズ船の寄港等の現状と見通し

③ 高知を含む四国港湾へのクルーズ船寄港回数

- 四国港湾へのクルーズ船寄港回数のうち半数以上を高知新港を含む高知県が占める。



* () 書きと赤の折れ線グラフは、外国船社の運航する船舶の寄港回数

(出典) 四国地方整備局 港湾空港部 「四国港湾へのクルーズ船寄港回数について (2024 年1月~12月)」

3.クルーズ市場の状況 (3) 高知へのクルーズ船の寄港等の現状と見通し

④ 高知を含む四国港湾各港におけるクルーズ船のクラス別寄港回数

- 四国港湾へのクルーズ船寄港回数のうち高知新港への寄港回数が最多。

四国港湾各港におけるクルーズ船のクラス別寄港回数 (2024年暦年・回)



*「cruise industry news」等をもとに四国地方整備局でクラスを分類

(出典) 四国地方整備局 港湾空港部 「四国港湾へのクルーズ船寄港回数について (2024年1月~12月)」

3.クルーズ市場の状況 (3) 高知へのクルーズ船の寄港等の現状と見通し

⑤外国船社及び日本船社が運航するクルーズ船の日本の港湾への寄港回数

- 寄港地は西日本に集中。2023年には高知新港が初めてランクイン。

順位	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年	
	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数
1	博多	259	博多	328	博多	326	博多	279	那覇	260	ベラビスタマリーナ	53	ベラビスタマリーナ	82	ベラビスタマリーナ	93	横浜	171	博多	204
2	長崎	131	長崎	197	長崎	267	那覇	243	博多	229	横浜	47	横浜	72	横浜	82	長崎	96	那覇	175
3	横浜	125	那覇	193	那覇	224	長崎	220	横浜	188	神戸	29	神戸	24	神戸	57	ベラビスタマリーナ 神戸	91	長崎	160
4	那覇	115	横浜	127	横浜	178	横浜	168	長崎	183	厳島 那覇	19	厳島	18	小豆島	33	—	—	横浜	147
5	神戸	97	神戸	104	石垣	132	平良	143	石垣	148	—	—	笠島漁港	15	厳島	32	鹿児島	82	石垣	120
6	石垣	84	石垣	95	平良	130	神戸	136	平良	147	笠島漁港	16	名古屋	14	名古屋	22	那覇	79	鹿児島	105
7	鹿児島	53	平良	86	神戸	116	ベラビスタマリーナ	122	神戸	131	博多	14	大三島(愛媛県)	13	宮之浦	18	博多	75	神戸	95
8	佐世保	36	鹿児島	83	鹿児島	108	佐世保	108	鹿児島	106	大三島(愛媛県)	13	仁尾	12	大阪 竹原	14	広島	59	ベラビスタマリーナ	91
9	名古屋	34	佐世保	64	佐世保	84	石垣	107	ベラビスタマリーナ	100	犬島	12	大島	11	—	—	清水	58	清水	87
10	広島	32	広島	47	八代	66	鹿児島	100	佐世保	79	石垣 長崎	10	小大下島	10	清水	13	高知	53	東京 大阪 佐世保	72
	その他	488	その他	693	その他	1,133	その他	1,304	その他	1,295	その他	110	その他	149	その他	344	その他	1,033	その他	1,079
	合計	1,454	合計	2,017	合計	2,764	合計	2,930	合計	2,866	合計	352	合計	420	合計	722	合計	1,888	合計	2,479

(出典) 国土交通省「訪日クルーズ旅客数及びクルーズ船の寄港回数(2024年速報値)」

3.クルーズ市場の状況 (3) 高知へのクルーズ船の寄港等の現状と見通し

⑥クルーズ船の船型 (高知新港に接岸できる船型等)

- 高知新港は22万トンまでの客船の接岸が可能。国内発着クルーズ船では最大規模のMSCベリッシマも寄港済み。

船名	船型、同縮尺イメージ			船幅	乗客定員
ル・ソレアル (Le Soleal) ('13年より日本に寄港) 初就航:2013年	総トン数 10,992トン	必要岸壁水深 5.3m程度	満載喫水 4.74m	18.0m	264人 (264)
飛鳥Ⅱ (邦船最大のクルーズ船) 初就航:1990年	総トン数 50,444トン	必要岸壁水深 8.8m程度	満載喫水 8.0m	29.6m	872人 (872)
ダイヤモンド・プリンセス (Diamond Princess) ('14年より日本発着クルーズに配船) 初就航:2004年	総トン数 115,906トン	必要岸壁水深 9.5m程度	満載喫水 8.55m	37.5m	2,706人 (3,247)
スペクトラム・オブ・ザ・シーズ (Spectrum of the Seas) ('19年より日本に寄港) 初就航:2019年	総トン数 169,379トン	必要岸壁水深 9.8m程度	満載喫水 8.82m	41.39m	4,246人 (5,622)
MSCベリッシマ (MSC Bellissima) (日本に寄港実績のある最大級のクルーズ船) 初就航:2019年	総トン数 171,598トン	必要岸壁水深 9.7m程度	満載喫水 8.75m	43.0m	4,418人 (5,686)
オアシス・オブ・ザ・シーズ (Oasis of the Seas) (世界最大級のクルーズ船) 初就航:2009年	総トン数 226,838トン	必要岸壁水深 10.3m程度	満載喫水 9.3m	47.0m	5,602人 (6,771)
アイコン・オブ・ザ・シーズ (Icon of the Seas) (世界最大級のクルーズ船) 初就航:2024年	総トン数 250,800トン	必要岸壁水深 未発表	満載喫水 未発表	64.9m	5,610人 (7,600)

(出典) 国土交通省「クルーズ旅客の受入機能高度化に向けた検討会」(令和6年5月20日)

「クルーズ客船データブック2022・2023 (海事プレス社)」、船社代理店への聞き取り調査等を基に国土交通省港湾局作成

3.クルーズ市場の状況 (3) 高知へのクルーズ船の寄港等の現状と見通し

**高知新港へのクルーズ船の寄港回数は増加し、
今後も中型船を中心に大幅に増加する見通し
乗客定員で見れば約17万人が来高見込み
(2025年度)**

本日の構成

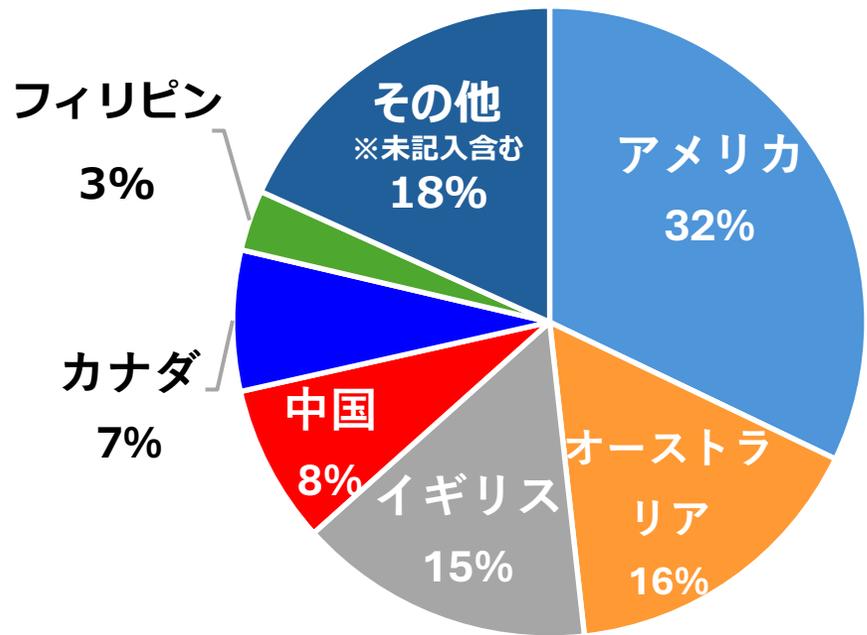
1. インバウンドの状況
2. インバウンド対策
3. クルーズ市場の状況
4. 外国クルーズ船乗客の傾向
5. クルーズ船乗客対応の課題と対策

4.外国クルーズ船乗客の傾向 高知新港に寄港する外国クルーズ船乗客へのアンケート調査

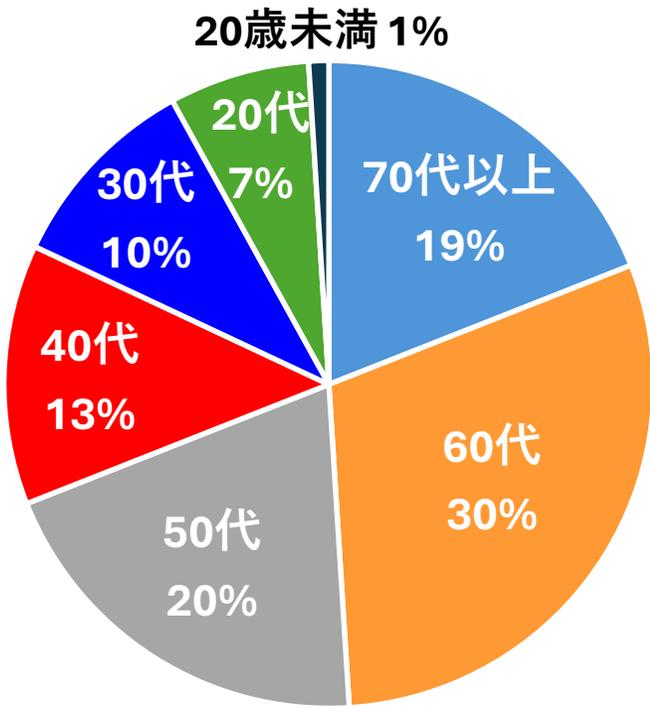
①2024年度 アンケート回答者の属性

- 場 所 : はりまや橋バスターミナル (以下、HBT)
- 対 象 : HBTからシャトルバスで新港に戻る外国クルーズ船乗客 (一部乗員含む)
- 回答数 : 有効回答数2,114(乗員132を含む)、消費額は回答数1,995 (19回アンケート実施)
※有効回答数を母数とし、小数点1位を四捨五入。

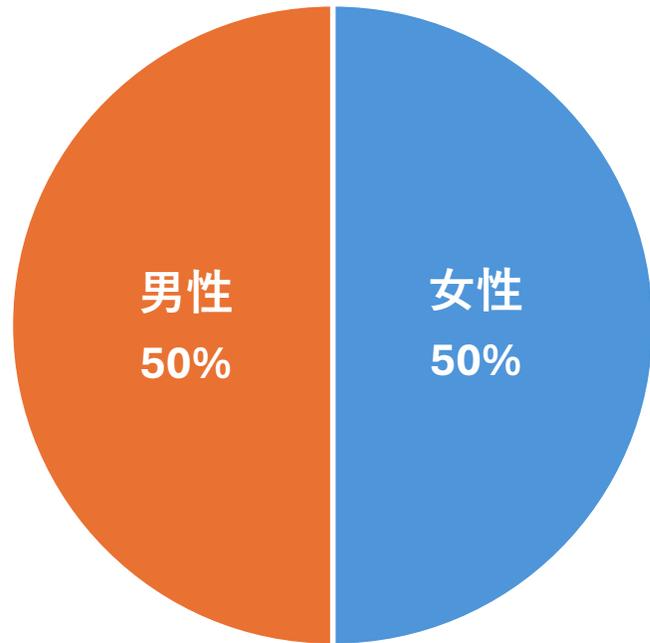
【国籍別】



【年代別】



【性別】



4.外国クルーズ船乗客の傾向 高知新港に寄港する外国クルーズ船乗客へのアンケート調査

②シャトルバス乗客の行き先

【主な行き先】

1.高知城、2.ひろめ市場、3.高知城歴史博物館

【その他行き先】

牧野植物園、よさこい情報交流館、竹林寺、桂浜、商店街（アーケード、大丸等）
はりまや橋、街路市（日曜市、木曜市）、よさこい祭り 等



③満足度

主な行き先の順位は前年調査と同じ

全体的に高いが、決済手段やWi-Fi環境に関しては、やや満足度が低い傾向がみられる。

	全体	買い物	食べ物	多言語表示	決済手段	Wi-Fi環境	また高知に来たいか
大変満足・満足	98%	93%	95%	88%	86%	77%	96%
普通	1%	7%	5%	11%	13%	21%	3%
不満・大変不満	1%	0%	0%	1%	1%	2%	1%

※「また高知に来たいか」の回答は、「ぜひ来たい・来たい」= 大変満足・満足、「どちらでもない」= 普通、
「来たいと思わない・全く来たいと思わない」= 不満・大変不満に分類

満足度の傾向は前年調査と同じ

4.外国クルーズ船乗客の傾向 高知新港に寄港する外国クルーズ船乗客へのアンケート調査

④市街地での消費額等

平均消費額

【全体（回答数1,995（19回アンケート実施））】

買い物：6,147円、飲食費：2,722円、その他：602円、合計消費額：9,471円

【中国人メインの客船（R6年10月5日アンケート実施）】

買い物：22,226円、飲食費：11,390円、その他：2,192円、合計消費額：35,808円

**中国人の消費額は
外国人平均の3倍以上**

⑤高知についての感想（自由回答）

【高知県についての感想】

- 1.市民がとてもフレンドリーだった、
- 2.食事がおいしかった、
- 3.街が清潔感がありキレイ、
- 4.ショッピングがよかった、
- 5.観光施設がよかった

【人気の食べ物】

- 1.カツオ・カツオのたたき、
- 2.餃子、
- 3.ビール・酒、
- 4.寿司、
- 5.ソフトドリンク

【人気のお土産】

- 1.洋服、着物等、
- 2.靴、バック等、
- 3.装飾品、
- 4.雑貨、
- 5.化粧品



**感想、食べ物、土産の
1位は前年調査と同じ**

4.外国クルーズ船乗客の傾向 高知新港に寄港する外国クルーズ船乗客へのアンケート調査

⑥よかったところ・要望等

【よかったところ】

アーケード内のイベントや体験企画がよかった

【要望】

- クレジットカードを使える店舗
- 外国語での対応
- 多言語案内表示
- 目的のお店が見つげにくい
- 目的のお店の情報がWEB上にない

**商店街アーケード内の
イベントが好評**

**要望は前年調査と
ほとんど変わらない**

4. 外国クルーズ船乗客の傾向 高知新港に寄港する外国クルーズ船乗客へのアンケート調査

⑦ 高知新港へ寄港するクルーズ船乗客の傾向（まとめ）

- 出身国
 - ・アメリカ、オーストラリア、イギリス、カナダを中心とした英語圏が半数以上
 - ・消費額の多い中国も一定数あり、2024年のクルーズ再開により今後増加の可能性
- 年齢：60歳代以上が50%弱、40歳代以上が80%超（アンケート回答者数で見た場合）
- 性別：男性と女性が半々
- 行き先：商店街を歩いて高知城、ひろめ市場、高知城歴史博物館等へ（徒歩の場合）
- 満足度：総じて高いが、DX・デジタル系（決済手段やWi-Fi等）はやや低い
- 評価：商店街アーケード内のイベントや体験企画が好評
- 要望：決済手段の拡充、多言語対応化、情報への容易なアクセス（わかりやすい情報発信）

本日の構成

1. インバウンドの状況
2. インバウンド対策
3. クルーズ市場の状況
4. 外国クルーズ船乗客の傾向
5. **クルーズ船乗客対応の課題と対策**

5. クルーズ船乗客対応の課題と対策

よかったところ（アーケード内のイベントや体験企画）は継続し磨き上げる

**満足度の低い項目及び要望 = 課題であり、
要望等は前年調査とほとんど変わっていない**

5. クルーズ船乗客対応の課題と対策

①外国人観光客が求める環境整備と情報発信の必要性

【課題】

【満足度の低い項目】

決済手段及びWi-Fi環境

【要望】

- クレジットカードを使える店舗
- 外国語での対応
- 多言語案内表示
- 目的のお店が見つげにくい
- 目的のお店の情報がWEB上にない

【対策】

- DX・デジタル化の推進
クレジットカード及びキャッシュレス機器の設置等
- 外国語での対応
ポケット多言語翻訳機などの導入、ポップ表示。特に英語及び中国語
- 多言語情報発信の強化
HP、SNSの情報拡充やポップの作成
特に英語及び中国語

5. クルーズ船乗客対応の課題と対策

② 環境整備と情報発信のために銀行ができること・その1

令和7年度商店街デジタル化支援事業などの伴走支援を実施

事業共同体（JV）各社の強みを活かしたデジタル化支援を実施中（実施期間：2025年4月～2026年3月）



四国情報管理
センター株式会社



四国銀行



SHIFT PLUS+

商店街、人流データ分析

- 県庁との窓口、各ステークホルダーとの調整
- 商店街組合のデジタル化、人流データ活用支援

モデル店舗への支援

- 店舗のデジタル化計画策定・施策提案
- 計画達成に向けた伴走支援、補助金紹介

リテラシー研修

- デジタルリテラシー研修、店舗や施設間の連携を目的としたワークショップ開催
- 事例集、インタビュー動画の作成

モデル店舗各社（15社）のデジタル化計画の作成、デジタル化に向けた伴走支援を実施。下記のようなニーズに対応中。

- デジタル化が全く手つかずで紙が中心、この機会にデジタル化したい。会計システムや給与システムなどからデジタル化を行うことに併せ、来店客の情報も収集していきたい（小売店）
- インバウンド客向けに自社サイトの多言語化を図りたい（飲食店）
- 店舗前をどのような人（性別、年代など）を通行しているかを把握し、店舗前でサインージ等で集客したい（飲食店）
- LINEを使ってお客様へのDMコストを削減させて、お店の情報やお得なクーポンを発信したい（小売店）
- 人流データと店舗データを分析し、デジタルサインージや動画を活用して集客力を高めたい。（小売店）

5. クルーズ船乗客対応の課題と対策

②環境整備と情報発信のために銀行ができること・その2

①DX・デジタル化等に活用できる補助金のご紹介・国の補助金

DX・デジタル化等を目指す方々が補助金を活用できるように支援中。ご相談は地域イノベーション部または最寄りの支店へ

業名	制度概要	補助額	補助率	公募期間	補助対象経費
IT導入補助金	業務の効率化やDXの推進、セキュリティ対策に向けたITツール等の導入費用を支援	最大450万円	1/2～4/5	～12/22	ソフトウェア、クラウド利用料、ハードウェア（PC・タブレット・レジ・券売機等）等
小規模事業者持続化補助金	小規模事業者等が経営計画を自ら策定し、商工会・商工会議所の支援を受けながら取り組む販路開拓等を支援	最大250万円	2/3～3/4	10/3～11/28	機械装置等費、広報費、ウェブサイト関連費、展示会出展費 等
中小企業省力化投資補助金	人手不足解消に効果のあるロボットやIoT等の製品や設備・システムを導入するための経費を補助	最大1億円	1/2～2/3	随時 (一般型は6/27～8/29)	省力化製品（清掃ロボット、券売機、スチームコンベクションオープン、配膳ロボット等）

※上記は国の補助金の一例。この他、県や市町村の補助金制度もある。

5. クルーズ船乗客対応の課題と対策

②環境整備と情報発信のために銀行ができること・その2

②DX・デジタル化等に活用できる補助金のご紹介・高知市の補助金

DX・デジタル化等を目指す方々が補助金を活用できるように支援中。ご相談は地域イノベーション部または最寄りの支店へ

業名/	制度概要	補助額	補助率	公募期間	補助対象経費
高知市中小企業等 生産性向上設備等 導入支援事業費補助金	生産性を向上させる 設備等の導入に関する 支援	最大200万円	2/3	4/1～ 12/26	ソフトウェア、ハードウェア (PC・タブレット・周辺機器 等) 等
高知市テレワーク導入 支援事業費補助金	ICTの活用促進等のた のテレワーク環境整備を 支援	最大30万円	1/2	開始済み (予算なくなり 次第終了)	ソフトウェア、ハードウェア (PC・タブレット・周辺機器 等) 等
高知市 リスティング支援事業	DX等の人材育成を目的 とし、オンライン動画学習 プラットフォーム「Udemy Business」を無料で視 聴可能	無料	無料	開始済み (先着50 企業まで)	ビジネススキル(プレゼン、 Excel、財務・会計等)、デー タ活用(機械学習、深層学 習、Python、RPA等)、IT 活用(ウェブ開発、AI活用、 プログラミング言語、クラウド 等) 等3万講座受講可能

※上記は高知市の補助金及び補助事業である。

5. クルーズ船乗客対応の課題と対策（意見交換用）

① 外国人観光客のTips（私見）

- 外国人観光客は「日本」＝「異文化」＝「そこでしか買えないもの・そこでしか食べられない美味しいもの」が好き。
- 地元の人が食べてるもの・使ってる（推奨する）ものも好き。
- 納豆など一部の例外を除き、鰹のたたきやゆずなど日本人や高知県人が美味しい・美しい・素晴らしいと思うものは、概ね外国人観光客も美味しい・美しい・素晴らしいと思う。
- 帯屋町商店街ほかでの物産展等のイベント（歓迎されている雰囲気）も好き。
- 物販に一定の関心があり、和洋服や和洋靴・靴、装飾品なども購入することがある。
- お箸や扇子など軽くて嵩張らないお土産は人気。漢字での名前を入れることも好評。それから考えれば、かんざしにも可能性があるかも。
- 母国語の表示や国旗があれば親近感がわく。

5. クルーズ船乗客対応の課題と対策（意見交換用）

②クルーズ船旅行のTips（私見）

- クルーズ船は夜に移動し、午前中に入港、夕方から夜に出港するパターンが多い。高知滞在時間は7～11時間程度。このためクルーズ船乗客の観光については日中がメインで、クルーズ船が催行するオプションツアーはほぼ日帰りのみ。
- オプションツアーへの誘導のため、船内でパンフレットほか寄港地の情報提供はほとんどされない。そもそも日本船以外のクルーズ船内に日本人スタッフがほとんどおらず、日本について詳しいスタッフも少ない。また、インターネット環境が悪いあるいは高額であるクルーズ船が多い。
- 高知新港から高知市中心商店街までバスで片道30～40分程度。余裕を見て片道1時間と考えれば、8時間滞在だと実質6時間しか観光できず、その時間は限定される。
- 船上での食事については、オールインクルーシブ（旅行代金に一日三食の費用が含まれ原則無料）が大半なので、ランチのみを船外でという乗客が多い。
- 日中にアルコールを摂取することは普通のこと。
- 高齢者の乗客は元気だが、高齢者は高齢者であり、一定の配慮が必要。
- 高知新港への入港はツアーの途中、数か所目ということが多く、特に高齢者にとっては、最初の入港は新鮮でも、ツアーの進行につれて疲労が出ることもあり得る。ツアー後半には下船しない人もいたりする。船上では映画やショー、プールほか娯楽がたくさんあり、困らない。

5. クルーズ船乗客対応の課題と対策（意見交換用）

③ Tipsからの考察（私見）

- 限られた時間で何を楽しんでもらうか。どんな物販とサービスができるか。
- 中国ベースのクルーズ船が寄港する際は、中国語のポップ表示を増やし、国旗を掲げたり、クルーズ船の入出港時間や滞在時間に合わせたイベント実施等、寄港船ごとに商店街・地域全体の受入れ方を変えてもいいのではないか。
- 大型クルーズ船寄港時は常時物産イベントを開催できないか（⇒県市との連携）。その際、商店街を含む地元の人が推奨するもの（飲食含む）を推奨することを示しつつ販売できないか。
- クルーズ船の寄港時のみ通常の業態以外の営業をしてもいいのではないか（物販店がコーヒーやアルコールを提供するなど）。

5. クルーズ船乗客対応の課題と対策（意見交換用）

④ 中心商店街を活性化するために（意見交換用）

- ほとんど情報を持たないクルーズ船乗客に高知と商店街の情報をどのように伝えるか。
- はりまやばしバスターミナルに来たクルーズ船乗客の多くが、徒歩で商店街を通り訪問する高知城及びひろめ市場と商店街がコラボレーションできないか。
- クルーズ船乗客は60歳代以上が50%弱であり、元気とは言え高齢者が多い中、どのような物販やサービスの戦略が考えられるか。
- 商店街アーケード内のイベント（ゆずや打刃物など県内特産品の物産展等）、体験企画（着物着つけ等）が好評であるが、他にどのような催しが可能か。
- 外国人相手の対応は効率が悪いとして積極的ではない商店街店舗もあるが、どのように考えたらよいか。
- この他の意見交換の議題設定も可。

ご清聴ありがとうございました。



地域と共に未来を創造する

(株) 四銀地域経済研究所

〒780-0823 高知市菜園場町1-2-1

Tel : 088-883-1152 (代表)

Mail : shigincr@crux.ocn.ne.jp